

04

ダイバーシティの推進

「多様性こそが組織の成長とイノベーションの源泉である」との考えのもと、真にボーダーレスな職場環境の構築を目指しています。性別、年齢、国籍、障がいの有無などにかかわらず、すべての社員が自らの能力を最大限に発揮できる環境づくりに取り組んでいます。



女性活躍推進

女性活躍推進の必要性

社員一人ひとりの個性や能力を伸ばし、新たなイノベーションを生み出すためには、多様性を尊重し、それぞれが持てる力を発揮できる職場環境を整えることが重要だと考えています。これは「女性活躍推進」の視点においても同様です。

ジーシーでは、新卒採用における女性採用比率が48.7%となっており、多様な人材が活躍できるよう、性別にとられない採用活動を進めています。

その一方、正社員の男女比率が7:3であるのに対し、女性管理職比率は2.2%にとどまっています。今後は、女性のキャリア形成やライフステージの変化に応じた働き方、支援体制の強化が必要であると認識しています。

女性活躍推進に向けた取り組み

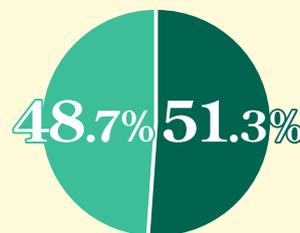
ジーシーは、今後10年で女性管理職比率10%の達成を目指しています。その実現に向け、複数の研修で男女のバランスに配慮した運営を行ってきました。また、社内に女性管理職のロールモデルが少ないという課題に対応するため、新任の女性管理職へのサポート施策として、2025年に「社外メンター」を採用しました。

先輩女性管理職がいきいきとマネジメントに取り組む

2025年度入社

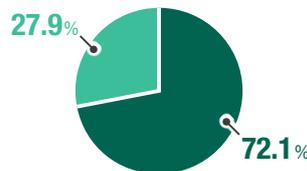
新卒の男女比率

10年前の2015年時点では、新卒の男女比率が男性75.0%、女性25.0%でしたが、現在は男性51.3%、女性48.7%と大きく変化しました。性別にとられない採用活動を行っています。



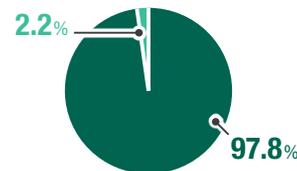
■ 男性 ■ 女性

正社員の男女比率



■ 男性 ■ 女性 ※2025年9月時点

管理職の男女比率



様子から、将来的に「自分も管理職を目指したい」と思う女性社員が増えることを期待しています。

その他にも、産休や育休がキャリアに影響を与えない制度設計の見直しや、昇格選考における上司の思い込みや過度な配慮が引き起こす「アンコンシャスバイアス」の有無を確認する取り組みなど、管理職層を含めた女性活躍推進に対する社内の理解浸透を進めていく方針です。

障がい者雇用促進に向けた取り組み

障がい者雇用の環境整備

障がい者の雇用促進を目的に、2017年に社内に包括支援係を設置しました。“真にボーダーレスな職場環境の構築”を目指して採用活動や職場環境の整備に取り組んでいます。

採用面では、特別支援学校への訪問や、近隣の就労移行支援機関からの見学実習の受け入れ、さらには他企業との情報交換なども積極的に実施しています。

職場環境の整備においては、定期的な面談を通じて困りごとの聞き取りや合理的配慮の確認を行い、可能な範

囲で個々の特性に応じた支援や環境整備を進めています。2023年には社会福祉士の有資格者を社員として採用し、障がい者のサポートを開始しました。その結果、2023年4月～2024年3月に入社した障がい者の離職率※は0%となりました。これは、障がい者雇用において達成が難しいとされる「入社1年以降の就労継続」を全員が達成したことを意味します。

※離職率：入社1年以内に退職した者の割合

現状の課題と今後の展望

包括支援係の設置以降、一定の成果は見られるものの、今後の雇用促進に向けてはさらなる課題への対応が求められます。特に、法定雇用率の達成と活躍範囲の拡大が重要なポイントとなります。

現時点では、障がい者雇用に関する法定雇用率の達成が困難な状況にあり、人材を安定的に確保するための採用施策の強化や、支援体制の拡充、職場環境のさらなる改善が課題となっています。

●法定雇用率の未達

現在、法定雇用率を満たしておらず、採用数の拡大および活躍範囲の見直しが求められています。

●活躍範囲の拡大と定着支援

今後は、包括支援係での業務に限定せず、障がいのある社員を社内の重要なマンパワーとして各部署に直接配属し、より多様な業務で活躍してもらうことを目指します。

Column 社外メンターについて

メンターとは、1 on 1の対話セッションを通じて個々の話を深く聞き、知識や経験に基づく助言を行う「人生・キャリアの導き役」のことです。

ジーシーでは、外部の現役女性管理職で、トレーニングを受けた有識者を社外メンターとして迎え、新任女性管理職向けに月1回の面談を実施しています。女性管理職のロールモデルが少ない当社でも経験豊富な外部の方から助言を受けることで、組織の枠を超えた「新しい視点や考え方」を得られることを期待しています。